

# 平成28年第7回定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成28年7月20日(水)  
午後3時00分～午後3時33分
2. 開催場所 柏原市教育委員会 委員会室
3. 出席した委員  
教育委員長 三宅 義 雅  
委員長職務代理 山崎 裕 行  
委員 西 育 代  
委員 田中 保 和  
教育長 吉原 孝
4. 出席した職員  
教育部長 尾野 晋 一  
教育監 三浦 正  
次長兼教育総務課長 中川 拓 也  
次長兼社会教育課長 石垣 好 啓  
スポーツ推進課長 一松 孝 博  
公民館長 酒谷 敬三郎  
図書館長 岩佐 昌 史  
学務課参事 北井 啓 司  
指導課長 野間 浩 一  
こども未来部長 己波 敬 子  
こども政策課長 小林 一 裕  
事務局教育総務課 寺川 款  
事務局教育総務課 礪部 賢 二
5. 議事案件  
議案第27号 「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画における教育委員会の所管事項について」の承認について  
議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について  
議案第29号 教育用地の取得について
6. 報告事項 他
7. 会議録の承認及び会議の要旨  
三宅委員長： 只今より、平成28年第7回定例教育委員会会議を開催いたします。本日の会議録署名については、田中 保和 委員、よろしくお願いたします。始めに、平成28年第6回定例教育委員会会議録の承認をお願いしたいと思います。会議録につきまして、何かご意見やお気付きの点がございましたらお願いいたします。

委員全員：（意見・異議等なし）

三宅委員長： それでは、平成28年第6回定例教育委員会会議の会議録は承認することといたします。改めて本日の議事に入ります。議案第27号「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画における教育委員会の所管事項について」の承認を、担当課の方から説明をお願いします。

小林課長： こども政策課でございます。私の方から、議案第27号「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画における教育委員会の所管事項について」の承認につきまして、ご説明を申し上げます。ご承認をいただきたい内容に入ります前に、先だって四月の段階で第4回教育委員会会議にて報告をさせていただきました「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画（案）」、その当時は「（案）」が付いておりましたが、今回、「（案）」がとれた状況、「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画」と確定をさせていただいている内容でございます。この計画の四月の報告後からの動きと今後の動きをご説明させていただいたうえで、最後に承認事項の内容をご説明させていただきます。「基本計画（案）」の段階でございますが、4月18日から5月31日までパブリックコメントということで市民の方々から広く意見の募集をさせていただきました。その結果、お手元の資料にありますように、9名の市内在住の方々よりご質問やご意見をいただいた次第であります。中身について簡単にご説明申し上げますと、「統廃合後の空き地の利用について。」という内容のもの、「開設する施設においての狭い場所に子どもを詰め込み過ぎないでほしい。」というもの、「子ども達の数が増えて入園児が使える遊具を減らさないでほしい。」というような施設整備、施設の内容に関するご意見、「平成32年と言わず、もう少し早い段階で実施してほしい。」といったご要望、更には「認定こども園の再編に際しては、保護者に十分な説明をしてほしい。」「保護者の意見を確認するようにしてほしい。」というような周知に関するご意見等、さまざまなご意見、ご要望をいただいた次第です。ただし、計画の中身に関しまして、大きく計画を変更するようなご意見というものはございませんでした。よって、この計画につきましては、先だって報告いたしました「基本計画（案）」からの変更点として、まず一点目は、文言等表記の訂正をさせていただいたこと、次に、この計画には園児数、経費についての費用面の数字等が出ているところですが、園児数については、平成28年の直近、保育所は6月1日、幼稚園は5月1日の数字を使わせていただき、費用面については、平成27年度の決算見込みの直近の数字を使わせていただいております。また、今後の予定ですが、本日の午前中、「子ども・子育て会議」におきまして、この基本計画をご覧いただき、さまざまなご意見をいただきながらご承認をいただいた訳ですが、市民の皆様に広くこの計画を周知する必要性がございますので閲覧ですとか、配布、紙物の資料といいますものを公共施設、公立幼稚園、公立保育所、私立幼稚園を代表とする公共施設にお配りするということが一点、市のホームページ、10月号の広報別冊というのも発行させていただく予定でございます。更には、養育家庭訪問事業「ママプラス事業」の各ご家庭訪問時に配布させていただくというように周知の方を進めさせていただきたいと考えております。来年以降といいますか、今後中長期的にみましてどう進めていくのかということになりますが、こちらの方は、この度策定させていただきましたのは基本計画ということでございますので、これからは平成32年度を開設目標としております地区を優先的に更に具体的な案の検討を進めてまいりたいと考

えております。この具体的な計画を作りました後には、各地区におきまして住民の方々に説明会を実施してご意見をお伺いしたうえで、最終的に具体的な計画、「実施計画」と呼ぶ予定をさせていただいておりますが、「実施計画」を確定させたうえ、平成32年度の開設開園に向けて進めてまいりたいと考えております。具体的な計画の策定に当たりましては、当然私立の施設の動向でありますとか、その段階での地域の状況というのを十分に加味したうえで、この基本計画と照らし合わせて総合的に判断していきたいと考えております。今回、承認いただきたい事項でございますが、参考資料の「基本計画」の14ページの図で表示しておりますように柏原地区を四地区に分けた年度目標をもった再編統合案を掲載させていただいております。この中には、柏原地区でいいますと、「柏原西幼稚園」を皮切りに各幼稚園という名称も入っておりますので、計画の中の一部ではございますが、この幼稚園の統廃合ということに関しまして、計画に沿いましてご承認をいただけましたらと考えている次第です。私からは以上でございます。

三宅委員長： 今までも基本計画の案について、お話をいただいております。14ページにある計画案、統廃合する計画案について何回もご説明をお聞きしておりますが、委員の皆様のご意見、ご質問がございましたらお聞きをしたいと思っております。

山崎委員： 今までもお話があったかもしれませんが、最近の例の阪南市で申しますと、周知の問題もあり、六百人規模という大きな規模になることもあって、なかなかうまくいかないのかなという状況にあります。平成32年度に開園することを目標にするこの二園について、概略、0歳児から入ってくるからなかなか難しい数えですけれども、何人くらいの認定こども園となるのか、そのあたりはどのくらいを読んでおられますか。

小林課長： 現時点では、14ページの表の一番上でいきますと柏原西幼稚園と柏原西保育所の現在いらっしゃる人数というものを最大と考えておりますので、新たにどこかに大きな施設、阪南市のような大規模な施設ではないと考えております。

山崎委員： そう申しますと、百人とか多くとも百五十人といった規模になりますね。

小林課長： そのとおりです。

己波部長： 規模とか例えば二つある施設のどちらの施設を使うとか、山崎委員が言われたように、この施設を二つとも潰して近所にどうするとか、その様な具体的な計画を本年度中に実施計画という形で園の中身ですね、ソフトの部分、運営内容も含めて決めてきたいなというように考えております。今回、この計画の中で幼稚園統廃合という文言が出てまいります。幼稚園に関して、条例上一旦は廃園をしないといけないため、それらの権限は教育委員会にございますので、この計画そのもののその部分を教育委員会で決定いただいたと足跡を残していくべきだと考え、今回議案として上程させていただきました。ですから今後、より具体的に何々幼稚園について、何年に一元化することによって一旦条例上は廃園となりますので、それから新しい施設となりますから、それはいかがでしょうかといった議案の上程はさせていただきたいと考えております。もちろん、統合に関しての例えばこのぐらゐの人数がいるのではないかと、施設はこのようにした方がよいのではないかと、といったご意見も議案とは関係なく頂戴できたらなというように考えております。

山崎委員： ですからおっしゃっていただきましたように、施設をどうするかといった話は、後から出てくる話なので、どこにもってくるか、どの程度の大きさの施設を建てるのかといった話、あるいは今の施設を使うのかといった話となれば、何人規模という話で今

のうちに把握しておかないといけない。

己波部長： 柏原市の場合、七月は待機者が少し出ましたけれども、今年度の四～六月は出ておりませんので、大体、今のボリュームを維持すれば、ニーズに十分対応できるのかなと思っています。そこが最低限ですので、後は今後の人口推移とかそういったものを「柏原市子ども未来プラン」において見込んでおりますので、そのニーズと兼ね合わせて考えていきたいと思っています。

三宅委員長： 阪南市の例もそうですけど、隣の八尾市の例もありますので、これから先の問題でどこに建てるのかどのような形にするのかといったところは、また議案として上がってくるだろうと思っています。

田中委員： 今のご時世で、なかなか予算的な措置は難しいと思うのですが、最低限、現存の施設で収容可能というように読んでおられますか。

己波部長：そこは今後の実施計画の策定にあたって、同じお金を投入するのであれば、新築の方が良いのか、あるいは施設改修の方が良いのか、それも大きな課題となってくるのではないかなと思っています。

三宅委員長： いずれにしても認定子ども園となってくると、給食関係が必要ですね。

己波部長： 必要です。

三宅委員長： 施設の改修無しでは難しいですか。

己波部長： 難しいです。

三宅委員長： なるほど、わかりました。何か他にございますか。

吉原教育長： 今後の予定としては、計画として上がっていますが次年度に向けて、あるいは今年度中で予算を獲得する必要があるものが何か出てきますか。

己波部長： 可能性があります。

吉原教育長： それは今年度中で補正を組む必要がありますか。

己波部長： 今年度中の補正は考えておりません。

吉原教育長： 新年度に向けての基本設計みたいなものですか。

己波部長： そうです。そもそもその実施計画というものを作成するに際して、一旦市で案を固めるにしても、一定、予算の裏打ちというものが必要となってくるので、裏打ちのないものをもって地域の方や保護者の方にご説明しても、絵に描いた餅にしかありませんので、「市としてここまでやろうと考えていますが、これでいかがでしょうか。」といった形で進めたいと考えています。

吉原教育長： 基本構想程度のものを作る予算が必要となってきますが、その意味ですか。

己波部長： 基本構想はこの基本計画と思っていますので、この四カ所の個別をどのようにしていくかを今年度中に一定決め、もし何らかの予算が必要であれば来年度に計上しようと思っています。

吉原教育長： 来年度の当初予算か補正になるということですか。

己波部長： 当初予算か補正予算になるか分かりませんが、来年度は骨格予算となりますので。

吉原教育長： なるほど。来年度の肉付けの部分に入っていくということですね。

己波部長： そのとおりです。

山崎委員： また、市民の皆さんへの周知という意味も大きな課題となってくるわけですね。

ね。パブリックコメントもしていただきましたし、広報にもまた掲載するというお話もございまして、十分手を打って手続きを進められるのかなということで安心をしているところですが、今のある施設を使うとすれば、私は古いことしかよく分からないのですが、幼稚園もPTAをもっている訳ですね、幼稚園も小学校も中学校も全部入ったPTA協議会があるのですけれども、こういったところにもお話をもっていくとか、現在の幼稚園に通っている家庭とかそういったところも含めて、これは教育委員会事務局の話となってくるのかなと思ったりもする訳なのですけれども、そのようなところにもお伺いをして周知していくような手立てが必要ではないかなと思う訳ですが教育監いかがですか。

三浦教育監： はい、今おっしゃったとおりだと思います。それぞれ幼稚園にもPTAはございますので、PTA協議会であったり、各園のPTAの方にもお話しはしないといけないのかなと思います。

中川次長： イメージとしましたら幼稚園だけではなくて、幼稚園、保育所の両方の保護者の方、また地域の方にこのような仕組みに変えていきたいということが後ろに必要であると教育委員会では考えています。二年ぐらだから私共は関係ないではなく、区長さんを含めた地域の方にもイメージとして、両方とも近場の幼稚園と保育所を合体させるようなイメージですので、そこはきちんと地域の方にこちらから呼び込んでご説明というものを必ずしないとイケない、と文言でも計画の中に示されていますのでそのように考えております。

山崎委員： 教育委員会事務局としてもぜひ対応していただきたいと思います。

尾野部長： 14ページの年間スケジュールのイメージに沿って進められるので、必要に応じて、教育委員会事務局と連携を取っていききたいと思います。

三宅委員長： 当然、平成33年に移行するとしても先程おっしゃったように、一旦、廃園というものを伴わなければならない、その時点で完全に0となっている訳ではない、年度途中の子ども達がいる訳ですから、その保護者に説明するという事は絶対必要になるし、そこを対応していけばいいかなと思います。

己波部長： この計画の案を策定しました時に、案が取れて計画決定となった時点で一旦、市民の方に対して全員の説明会を検討したのですが、この計画だけでしたら具体的な内容に対してお答えできないと、例えば一日の流れもここには示させていただいてはいますが、でも、「どういったところに主眼を置いて保育教育をされるのですか」と言われると、「まだ決まっておられません」と、「では一番にどこがやられるのですか」と言われても、「まだ決まっておられません」としか言えない状況で説明会を開きますと逆に混乱をきたしますので、パブリックコメントという形でまずご意見を頂戴してこの基本計画を決めました、その基本計画の上に今度進みます実施計画、この案が出できた時点で市民にこれを説明に行く色々なことにお答えができるようになりますので、そこで委員がおっしゃっていただいたような具体的な説明会、あるいは意見交換会、これをやっていきたい、このことを年度中には何とかやっていきたいと考えます。併せまして委員長は子ども達がいるとおっしゃいましたとおり、平成29年に応募して平成30年に入園あるいは入所するような子ども達も幼稚園、保育所の代わりに、まともに認定こども園が開園している訳ですから、今年度中にできるだけ具体的なこと、計画案を作り上げて市民の皆さんに徐々に周知していく、意見をいただいて皆で合意を得て作ったことを我々は考えていくと思っております。

西委員：すべて決まってからではなく、決まる前に地域の方のご意見とか保護者の方のご意見、今回、パブリックコメントを出していただいた訳で、これをしっかりと考えていただきながら決めていかななくてははいけませんけれども、その都度やはり色々な声を聞きながら進めていただきたいと思います。「何でこのようになったのか」「言っても聞いてもらえないのではないか」といった声とならないように一緒に進めていくよう、よろしくお願いたします。

三宅委員長：何かご質問等はございますか。

山崎委員：PTAの会長の方々にもお話をさせていただきたいと思います。

三宅委員長：他に何かご質問等はございますか。では、議案第27号 公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画における教育委員会の所管事項についての承認について、ですが、柏原西幼稚園、国分幼稚園の目標年度を平成32年度に設定し、各地区の保育所との統合再編により認定こども園の開設を目指す、もう一点は、玉手幼稚園、堅下幼稚園、堅下北幼稚園で目標年度を平成33年度以降に設定し、各地区の保育所との統合再編により認定こども園の開設を目指す、という二つの計画を示されましたが、こちらについてご意見等はございますか。ご意見等がなければ原案どおり決定してよろしいですか。

委員全員：（異議なし）

三宅委員長：ありがとうございます。それでは、議案第27号 公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画における教育委員会の所管事項についての承認について、原案どおり決定することといたします。続きまして、議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について、担当課の方から説明をお願いします。

野間課長：指導課でございます。議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について、でございます。資料3ページをご覧ください。柏原市いじめ対応委員会条例第3条の規定により、次のとおり任命する。任命予定者は4ページのとおりです。任命年月日は平成28年4月1日、任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日まででございます。

【任命予定者・資料により説明】

三宅委員長：議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について、指導課より説明がありましたがご意見、ご質問はございませんか。それでは、議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について、原案どおり決定してよろしいですか。

委員全員：（異議なし）

三宅委員長：それでは議案第28号 柏原市いじめ問題対応委員会委員の任命について、原案どおり決定することといたします。続きまして、議案第29号 教育用地の取得について、お願いたします。

尾野部長：ジェイテクト所有地の取得の件でございます。場所は国分中学校のグラウンドの南側の隣接地であり、元々の社宅の跡地について、以前より学校現場からグラウンドが狭いのご意見があり、教育委員会としてもグラウンドの確保のための検討をしておりましたが、今回、市長部局との話し合いの中で取得に向けての方向性が出てまいりましたので今回のご提案をするものです。よろしくお願申し上げます。

三宅委員長：議案第29号 教育用地の取得について、尾野部長より説明がありましたがご意見、ご質問はございませんか。それでは、議案第29号 教育用地の取得について、

原案どおり決定してよろしいですか。

委員全員 : (異議なし)

三宅委員長 : それでは議案第29号 教育用地の取得について、原案どおり決定することといたします。本日の議案案件は以上でございますが、報告事項があればお願いいたします。

尾野部長 : 【柏原市立小中学校適正規模適正配置の基本方針の策定について】の報告

三宅委員長 : 他に報告事項はありますか。

各課 : (報告事項なし)

三宅委員長 : 何かご意見・ご質問はございますか。

委員全員 : (意見・質問なし)

三宅委員長 : 無いようであればこれで閉会とします。次回、平成28年第8回定例教育委員会会議につきましては、平成28年8月23日(火)午後3時00分からの予定となっておりますがよろしいですか。

委員全員 : (了承)

三宅委員長 : 会議終了にあたりまして、山崎 職務代理よりご挨拶をお願いします。

山崎委員 : 以上をもちまして、平成28年第7回定例教育委員会会議を終了します。本日はありがとうございました。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

平成28年7月20日

柏原市教育委員